

奥州市はひとつ 今こそ 飛躍のとき



次期市長選に向けて

小沢 昌記

次期は、奥州市が一つの自治体として飛躍する初年度!

平成30年4月1日より区制度がなくなり、一つの自治体として本格的に始動することになります。

合併時本市が抱えていた、過去から引きずって来た財政問題や旧市町村ごとに異なる行政運営の考え方などについて、就任以来8年間において、激変による痛みを極力回避しながらも着実にこれらの問題を解決方向に導き、整合性を図りつつ一つの自治体として力を発揮できる体制を構築してまいりました。今こそ新しい奥州市としての飛躍を望めるスタートラインにつく準備が出来たものと考えております。

しかし、現状において奥州市は少子高齢化、人口減少、逼迫した財政状況、都市間競争の激化など、課題は山積しております。今こそ市民一人ひとり、行政と市民、地域と地域が手を取り合い、互いに認め合い補い合う「協働のまちづくり」を推進することにより、奥州市としての底力を発揮し、立ち足る課題を解決し、幸せを実感できる「まち」を市民の皆様と共に創り上げて行かなければなりません。

私はこれまでの経験を礎に市民の先頭に立ち持つ力の全てを奥州市の発展に傾注する覚悟を持って三度市長選挙に立候補する決意を致しました。

継続こそ力です、市民皆様の力を結集して飛躍する奥州市を共に創り上げようではありませんか!